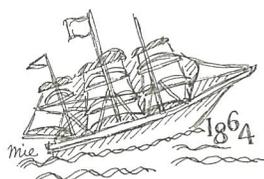


DOSHISHA REPORT



法人部

●二〇〇二年春の叙勲・叙位

同志社大学名誉教授津田博氏、同志社女子大学名誉教授木咲弘氏がともに勲三等瑞宝章を受章され、五月十日国立劇場大劇場で伝達式が行われた。

●二〇〇二年度入社式

四月三日、大学神学館礼拝堂で入社式が行われた。本年度の採用は、大学教員十七人、女子大学教員九人、香里中学校・高等学校教員三人、女子中学校・高等学校教員一人、国際中学校・高等学校教員二人、中学校教員二人、大学職員十

七人、女子大学職員二人の計五十三人である。大谷實総長と野本真也理事長から歓迎のことが述べられ、野本理事長から一人ひとりに辞令が手渡された。

大学

●リエゾンオフィス発足

産官学連携推進の気運が高まる中、社会との連携をさらに強化するための窓口としてリエゾンオフィスを五月一日に設置した。これまでは各分野の当該事務室が個別に担当してきたが、同志社大学の知的資産を公開し、研究成果を社会に還元すべく、実際に共同研究の計画・実施に関する相談と契約などを単一窓口のリエゾンオフィスが専門的に行っていくこととなった。全学的な組織であり、学部にもまたがった学際的な産官学共同事業への対応も可能である。新しい活力を創出する契機とするために「産官学地域連携フォーラム」などのイベントも開催し、今後ますますの産官学地域連携が期待される。

●学生支援センターが始動

京田辺キャンパスにおける学生の学習および生活上の支援を総合的に促進させることを目的とし、五月に学生支援センターが設置された。京田辺キャンパスは様々な情報入手する機会が少ないと言われており、このような現状を改善すべく、総合的な相談や案内、自己啓発のための情報の収集と周知、学生生活を活性化するための諸事業に関して積極的な活動を展開していく予定。

●学生会館、新学生会館(仮称)の建設始まる

大学新町キャンパス内のサークル部室として利用されてきた「新町北別館」と、学生会館敷地内の部室・会議室のある「別館」を統合して、新町キャンパスに「学生会館」を新築することになり、四月二十七日起工式が行われた。完成は九月中旬で十月から使用されることとなる。また学生会館も、大ホール、会議室、ラウンジ、食堂、喫茶等の福利厚生機能を継承した上で、二〇〇四年開講予定のロースクール、ビジネススクールや、他事務室も入居する「新学生会館(仮称)



新大会館完成予想図

として生まれ変わる。来年一月から建設工事を開始し、二〇〇四年四月にオープン予定である。

●同志社大学経営戦略懇談会発足

一九九九年に発足した「有識者懇談会」を拡大発展させ、経営戦略懇談会を発足し、五月二十一日に第一回目の懇談会が開催された。今回は「本学を含む日本の高等教育機関の将来像と対企業連携について」リエゾンオフィス設置等を踏まえ

て」というテーマを掲げ、学外メンバー十七人のうち、秋元満京都銀行会長をはじめとした七人と、教職員約五十人が参加、活発な議論が行われた。

●経済学部と池坊短期大学が単位互換に関する申し合わせを締結

同志社大学経済学部と池坊短期大学が、六月二十八日、単位互換協定を結び、二〇〇三年四月からスタートさせることになった。同志社大学経済学部からは経済学の授業を、池坊短期大学からは日本の伝統文化に関する授業を提供しあう。

●法学部が第三者評価制度を導入

法学部は、教育機関としての明確なビジョンを打ち出し、その実現のために必要な教育体制・教育方法・教育内容を更に充実するため、二つの第三者評価機関を創設することにした。「第三者総合評価委員会」は、法学部全体の教育ビジョン、教育体制および研究体制などについて総合的な意見・評価を仰ぐ機関であり、各界の幅広い有識者に協力を仰ぐ（本年度から創設。「第三者専門評価委員会」は、法学部の法律学・政治学のそれぞれの専門科目の内容、教育方法、評

価基準などについて個別に意見・評価を仰ぐ機関であり、二〇〇三年度から実施予定で準備中。

女子大学

●音楽学科声楽オペラ公演

二月二十四日新島記念講堂で第十五回オペラ公演が上演された。演目は、永遠不朽の名作、W・A・モーツァルト作曲「フィガロの結婚」。このオペラは音楽学科声楽コースの授業の一環として、「オペラII」を履修している学生を中心に手作りで行われてきた。指導は同志社女子大学坂口菜里講師。多数の来聴者で賑わい、公演は大成功を収めた。

●情報メディア学科開設

二〇〇二年四月に学芸学部情報メディア学科を開設。百二十一人が入学した。新しい時代に対応して、IT（情報通信技術）を駆使して自己表現し、社会で活躍できる女性の育成を目指す。専門科目は、「メディアデザイン」「文化コミュニケーション」「ネットワーク・知識情報」

の三分野。学生が個々人の興味と目的に従って自由に履修できるカリキュラム構成になっている。四月に同志社びわこリトリートセンターで行われた新入生学外オリエンテーションでは、クラス紹介ビデオの作成などを通して交流を深めた。

●二〇〇二年度学芸学部日本語日本文学教科新入生学外オリエンテーション

四月三日・四日、宇治・花やしき・静山荘で行った。新入生一七三人、上級生リーダー十七人、教職員十三人が参加。宇治散策では、源氏物語ミュージアム、平等院などを見学し、その思いを短歌に詠った。新たな友達と教員を交えての登録相談やレクリエーションを通じて親交が深まり、新入生にとっては学生生活への不安を吹き飛ばす貴重な二日間となった。

●二〇〇二年度現代社会学部新入生学外オリエンテーション

四月三日・四日、リーガロイヤルホテル京都で行った。入学式を終え、期待と不安いっぱいの新入生四百九十五人、上級生リーダー二十五人、教職員二十六人

が参加。教職員とリーダーが親身になって、学生生活・登録の相談、親睦会など、活気溢れる充実した二日間となった。

●日本女子大学との学生交流協定

日本女子大学（東京都文京区・後藤祥子学長）と学生交流協定を結ぶことになり、五月十三日、今出川キャンパスジェームズ館で調印式が行われた。協定では、両大学二・三年次生二人を相互に一年間派遣し、派遣先の履修科目を自大学の卒業単位として認定する。学生交流は二〇



協定書を交わす後藤祥子日本女子大学長（左）と森田潤司女子大学長

〇三年度から実施する。

●春季リトリート

五月十八日・十九日、同志社びわこリトリートセンターで春季リトリートが行われ、教職員を含め約七十人が参加。金櫻氏（牧師・同志社大学嘱託講師）に「地球時代の生命と平和と神を愛し、隣人を愛する心」と題して講演いただいた。グループトークングでは、心を開いて語り合い、参加者にとって貴重な二日間となった。

高等学校

●校祖永眠記念礼拝

一月二十三日

●入学試験

二月九日、十日

受験志願者数 三百三十七人

（女子 百六十八人 男子 百六十九人）

●卒業式

三月九日

卒業生 三百九十人

（男子 百九十人 女子 二百人）

●学校スキー

三月十三日～十七日

●入学前オリエンテーション

三月二十三日、二十五日

二十三日は同志社中学の生徒、二十三日は他中学生徒を対象に、入学後の心構えなどについて注意があり、教科書の購入もこの日に行った。

●入学式

四月八日

新入生 四百三人のうち女子 二百十三人
男子 百九十人
他中学出身者 八十四人のうち女子 四十二人
男子 四十二人

●二・三年生学力テスト

四月十七日、十八日

●遠足

五月九日



琵琶湖・マイアミランドで（3年生）

各クラス行き先・班分け・食事のメニューなどすべてクラス討議で決定、実行した。

●京都府総合体育大会

三月十八日

各クラブ員が出場し、ほか一般生徒が応援に出かけた。この日は土曜日であったが、普通授業の日にあたる三年生のみ出席をとつての見学となった。

●宗教週間

▽六月四日「人を生かすために」

浅野 純氏（北星学園女子中高宗教主任）

▽六月五日「挫折から立ち上がるう」

森田喜之氏

（人権平和事業実行委員・識字ボ

ランティア）

▽六月六日「押し寄せる波を止める」

上内鏡子氏

（日本キリスト教団京都教区派遣

教師としてフィリピンで従事）

●一年クラス合宿

七月十七日、十八日

一年生の各クラスが、同志社びわこリトリートセンターなど別々の会場で一泊研修を行い、主として学園祭の取り組みについて、クラス討論を行った。

●ウエスリー交換留学生九人メルボルンへ出発

七月二十六日

一年生の応募者から選ばれた九人（女子六人、男子三人）がオーストラリア、メルボルン州ウエスリーカレッジで、二週間のホームステイを体験した。

香里中高

●ハワイから北九州に変更の修学旅行

二月十一日～十五日、高校二年生。

本来ならば十月下旬にハワイへ行っていたはずだったが、米同時多発テロ事件で、急拠国内に変更になった。修学旅行のテーマが平和学習、異文化理解、現地での交流であったので、博多、長崎が候補に上がり十二月の下見を経て実施に至った。前半は班別で行動し、博多、伊万里、ハウステンボスなどを見学し、ちょうど中日に長崎の活水高校で合同礼拝をし被爆体験を聞いた後、活水の生徒の案内で平和学習フィールドワークに出発。昼食を一緒にして現地での交流は終了し

た。後半はコース別で島原、阿蘇、吉野ケ里などを見学して別府まで行った。ハワイに行けなかったのは残念であるが、「北九州修学旅行もいい経験になった」というのが大半の生徒の感想であった。

●清心館献堂式

例年より早い桜花の下で、総長、理事長などが列席し新館の献堂式が挙行され



た。この建物の目玉は二階のオートロックス式ロッカーを備えた女子生徒専用の更衣室であるが、一階に中学一年生専用の教員室と二つの教室があり、完全共学化を意識した建物となっている。

●高校体育祭

今年で女子生徒が三学年揃ったので、伝統的な縦割対抗をやめて、各学年四十人の女子を四分割し、そこに男子が加わり黄、赤、緑、青の四組に分かれた。競争する種目が減りゲーム的なものが増加した。

●模擬授業に九百人以上が参加

六月三十日
あいにくの雨だったが、オープンキャンパスが実施された。従来は入試説明会と施設見学が主であったが、今回は小学校四年生以上を対象に実際の授業に参加してもらったことをメインにした。当初の予想を越えた希望者があり、各教室三十人以下という条件に合わせるため、国語、社会、算数、理科、音楽、技術、英語、情報で用意していた十八の授業では収容し切れなくなり、約三分の授業をそれぞれ担当者が二回行い対応した。生徒

は緊張していたのか静かで、俳句を作ろう、パズルでマップ、ピタゴラスの定理から見える世界、木の高さを測ろう、手作り楽器、英会話などの授業に参加していた。本校としては初めての試みであったが、親子合わせて約二千五百人が来校し盛況であった。

女子中高

●卒業式

三月十六日
中学・高等学校合同の卒業式が行われ、それぞれの進路に向かって巣立っていった。

●修学旅行

中学二年生は、三月十七日から十九日の二泊三日の日程で長崎方面に、高校二年生は、三月十七日から二十日の三泊四日の日程で日光、東京方面への修学旅行を実施した。

それぞれ自主研修を中心にして、平和学習等に取り組んだ。

●スキー学舎

三月十七日から二十一日は高校一年生

の希望者、三月二十一日から二十五日は、中学三年生の希望者を対象に、北志賀、竜王でスキーの講習会を実施した。

●入学式

四月八日
中学校二百四十六人、高等学校二百五十八人を迎え、入学式を行った。

●女子部創立記念日

四月二十一日
女子部創立百二十五周年の記念礼拝をもった。礼拝の特別講師には同志社大学名誉教授の竹中正夫先生をお迎えし、奨励をしていただいた。

●春季遠足

五月九日
中学二年生から高校三年生が各学年ごとに遠足を行い、クラスの親睦を深めた。

●中学一年生修養会

五月九日～十一日
丹波篠山にあるユニトピア篠山で「なかくよくなるう」を主題にして修養会をもった。修養会を通して同志社に学ぶ意義を考えた。

●国際交流

米国サンフランシスコ郊外にあるヌエバスクールと交流を持った。三月十七日～二十五日までは八人の本校生徒（中学



家庭科の調理実習を体験

三年生）が現地でホームステイをしヌエバスクールへ体験入学。交流を深めた。また、五月十三日～十七日までヌエバスクール生八人が来日。ホームステイし、本校へ体験入学。文化交流し、なごやかな時を過ごした。

●母の日礼拝

五月十六日
母の日礼拝をもった。カーネーション販売の収益金及び募金はハンセン病救済団体の好善社「IDEA JAPAN」に贈った。

●芸術鑑賞

六月十二日
京都コンサートホールで京都市交響楽団による演奏を聞いた。

●球技大会

六月十八日、中学生は六月二十六日に、球技大会を実施した。バレーボール、ドッジボール、ポートボール、バスケットボールにと覇を競った。中学、高校ともに、曇天だったが、楽しい一日であった。

●花の日礼拝

六月十三日に、聖歌隊の合唱、ハンドベルの演奏による賛美礼拝をもち、十四日には、花を持ち寄って、飾り、花の日の礼拝をもった。その日の午後、花と募金を持って、京都市内を中心とする養護施設、老人ホーム等を訪問し、交流をもった。

国際中高

●中学合唱フェスティバル

二月十六日
京田辺市の一人暮らしの老人の会「む

つみ」の皆さんをお招きして開催された。今年度は中学三年生の全体合唱も加わり、華やかで楽しい一日となった。

●卒業式

中学校

三月十九日

高等学校

三月十二日

今年度から、中高を分離して卒業式が行われた。それぞれが希望を胸に学舎を巣立っていった。

●中学校二年生

長崎研修旅行

●高等学校二年生

沖縄研修旅行

ともに、三月十四日～十七日

「平和教育」は本校が最も力を入れている教育の一つだが、それぞれの学校の二年生が研修旅行にいった。一年間かけて学習してきた内容を実地で確認し、自分たちの思いを「平和宣言」に託し、捧げた。

●高校女子テニス部

●第二十四回全国選抜高校テニス大会出場

京都府予選準優勝、近畿予選六位入賞を経て、創部以来初の全国大会出場となった。初戦で破れはしたが、選手に大きな自信と希望をもたらした。

●入学式

四月五日
今年も多くの生徒たちが、希望に胸を

ふくらませ新島記念講堂での入学式に参加した。「新入生宣誓」の言葉も英語と日本語でそれぞれ力強くなされた。

●ローレンスビルスクールへの短期留学（高校生）

三月十八日～四月十四日

ローレンスビルスクール短期留学

生受け入れ

六月十七日～七月五日

高等学校二年生が六人、本校の姉妹校であるアメリカ、ニュージャージー州のローレンスビルスクールに約一カ月間滞在し、有意義な研修を積んだ。またその交換として同校から六人が訪れ、球技大会や授業に参加し、研修と交流を行った。

●又エバスクールへの短期留学

(中学生)

三月二十四日～四月二日

又エバスクール短期留学生受け入れ

五月十三日～十七日

国際交流プログラムの一環として、本校の中学生八人が留学し、また又エバスクールから八人が本校を訪れた。サンフランシスコにある同校は、全員が日本語を学習するなどユニークなカリキュラム

を持つ名門校であり、お互いに中身の濃い有意義な研修となった。

●宿泊研修

高等学校

五月七日、八日

中学校

五月九日、十日

同志社国際で生活することの意義を学ぶこととクラス作りを目的として実施された。二日目には校祖墓参し、それぞれがこの学校で学ぶ決意を墓前に捧げた。

●中学遠足

好天に恵まれ、

六月十二日

一年生 平等院、天ヶ瀬森林公園

方面

二年生 嵐山・嵯峨野方面

三年生 山城森林公園で飯盒炊きさんを実施した。教育実習生も交じり楽しい一日となった。

●高校球技大会

六月十二日

前日の雨でグラウンド状態が心配されたが、体育委員を中心とした生徒たちの努力によって、白熱したすばらしい試合となった。

●保護者会

六月十七日

授業参観の後、教務部、生活指導部から本校の基本姿勢や、現在の状況を説明。

さらにクラス懇談も実施され、保護者と情報交換を行った。

●アメリカンフットボール部
京都大会優勝 西日本大会準優勝



春の大会を全勝で優勝し、六度目の挑戦となった西日本大会は、悲願の一勝ばかりでなく準優勝を勝ち取る大活躍となった。

●フィリッパスアカデミー・サマーセッション出発
六月二十五日～八月二日

校祖が学んだ学校であり、アメリカ屈指の伝統校である「フィリッパスアカデミー・アンドーバー」のサマーセッションに七人が出発した。八月二日までの一カ月間、ハイレベルな授業を受講するなかで、大きく成長して帰国した。

中学校

●入学式

四月五日

新入学生 三百二十四人

●新入生オリエンテーションキャンプ
四月二十四日～二十六日

同志社びわこリトリートセンターで二期に分けて行った。

●新入生創立者墓参

四月二十四日、二十六日

●遠足(二、三年生) 四月二十六日

二年生は近江八幡国民休暇村で、三年生は滋賀県希望ヶ丘で、ともに飯盒炊き込みをし、新クラスメイトとの親睦をふか

めた。

●生徒会委員研修会

四月十九日、二十日

同志社びわこリトリートセンターで、生徒会執行委員と三年ホームルーム委員による研修会を行った。

●一年生保護者のための学校生活案内の集い

五月十三日

教科・校務からの説明と施設・クラブ見学を行った。

●又エバスクール生との交流

五月十三日～十七日

米国サンフランシスコ郊外にある同校の中三男女六人が訪問。日本語を学習しているものでそれぞれクラスに入り、授業及びクラブ活動に参加するなど、生徒同士交流を深めた。

●生徒大会

五月十六日

和太鼓部による演奏のあと、今年度の生徒会の活動方針と予算案が提案され、承認された。参加した又エバスクール生に記念品が贈呈された。

●春期宗教教育強調週間

六月三日～七日

「青春の日々」



5月16日の生徒大会。和太鼓によるオープニングの様子

中村幸久先生（西陣教会牧師）
「バハラ・ナの生き方」

上内鏡子先生（同志社教会副牧師）
「宝物」

榎本てる子先生（同志社大学
非常勤講師・エイズ派遣カウンセラー）
「人を生かすために」

浅野 純先生（北星学園女子中高
宗教主任）

●花の日礼拝・施設訪問 六月七日

「木はあるか心に、花は心の糧」
広澤和人先生（元神戸女学院中高校長）
放課後、花をもってホザナコーラス部
とハンドベル部員及び有志四十余人が首
養護老人ホーム「船岡寮」を訪問、交流
した。

●英語暗唱大会 六月二十一日

●夏期キャンプ
一年生（全員参加）

七月二十一日～二十九日
四期に分けて各期二泊三日で、宮津市
由良の本校キャンプサイトで行った。
二年生（自由参加、約二百八十人）
七月二十二日～八月三日

四期に分けて各期三泊四日で、長野県
白馬村をベースに、唐松岳に登り、
また、樺池自然園を見学した。

幼稚園

●一月お誕生日会 一月十七日

午前中は園児に教員たちが人形劇や合
奏をし、午後からはその月に誕生日を迎

えた園児と父母、教員が昼食をともし、
ケーキにローソクを灯してお祝いをした
（毎月一回行われる）。

●参観日 二月四日～七日

自由あそびや各クラスの設定保育の様
子を父母に見ていただいた。

●人形劇観劇 二月二十日

全園児で「三匹の子ブタ」と「つるの
恩返し」の人形劇を観て楽しく過ごし
た。

●焼きイモパーティー 二月二十二日

アルミ箔に包んだおイモを新聞紙にく
るみ、牛乳パックに入れて全園児でお庭
でたき火をし、焼きイモを食べた。

●移動動物園 三月一日

家庭から野菜や果物を持参し、園庭で
ウサギやヤギ、ヒツジ、ハムスターなど
多くの動物と触れ合い、楽しい一日を過
ごした。

●マラソン大会 三月五日

全園児で御所へ行き、マラソンを楽し
んだ。

●お店屋さんごっこ 三月六日

各クラスで作った首飾りや紙粘土の団
子など、多くの品物を並べて、店員とお

客に分かれて買い物を全園児で楽しんだ。

● **会食** 三月六日
卒園のお別れ会食を行い、全園児でポテト、おにぎり、フルーツポンチなどを食べた。

● **人形劇観劇** 三月八日
全園児で人形劇を観て楽しい時をすごした。

● **卒業礼拝・お別れ会** 三月十一日
午前中は年長組の父母と全園児が中学校チャペルで礼拝をし、午後からは年長組の親子と教員が幼稚園で昼食をともにし、歌やゲームをして過ごした。

● **保育修了式** 三月十五日
年長組（四十八人）の園児が証書を読んだき、お別れの言葉や歌を歌った。

● **入園式** 四月十二日
三歳児四十三人、四歳児三人が入園。

● **イースター** 四月二十日
全園児でイースターのお話を聞き、ゆで卵を持って帰った。

● **四月お誕生日会** 五月二日
午前中は全園児でスライドを見、午後はその月に誕生日を迎えた園児の父母にカレールイスを作っていただき、ケーキ

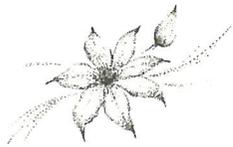
にローソクをつけてお祝いをした（毎月一回行われる）。

● **園児大会** 五月九日
年長組の親子が植物園へ行き、春の自然を楽しんだ。

● **同窓会** 五月十七日
午後から卒園生（小学一年生）が園に集まり、ゲームをしたり、おやつを食べべて楽しく過ごした。

● **遠足**
五月二十一日は、年少組親子が動物園へ、二十三日は年中組園児が植物園へ、二十四日は年長組園児が宝ヶ池子どもの楽園へ出かけた。

● **参観日** 五月二十七日～三十一日
● **花の日礼拝** 六月十四日
園児たちが花を持参し、感謝の礼拝を行った。



● **百五周年記念礼拝・お茶会** 六月二十日

大谷實同志社総長が一日園長となり、全園児で礼拝した後、紫組親子でお茶会を楽しんだ。



● **開園記念バザー** 六月二十二日

● **ジャガイモ掘り** 六月二十六日
年少組親子と年中・年長組で北山の畑へジャガイモを掘りに行き、持ち帰った。